

つかさ会 会報


2021.5月

つかさ会の皆さま、こんにちは。2021年の東海地方の梅雨入りは平年より記録的に早く、くずついたお天気の日が続いていますね。これから蒸し暑い日がやってくるかと思うと憂鬱な気持ちにはなりますが、梅雨の中休みにみられる青空や新緑を楽しみに過ごしていきたいものです。

さて、会員の皆様の中には血糖自己測定を行っている方もいらっしゃると思います。中には日本糖尿病協会から配布されている「自己管理ノート」に毎日の血糖値を記載している方もみえると思いますが、2021年4月からその「自己管理ノート」の改訂が行われました。改訂版では、血糖値以外に血圧・体重・歩数の記入欄が加わり、より多面的に自己管理ができるツールとなっております。今後随時改訂版への移行がすすんでいくかと思っておりますので、是非お役立てください。

今月は、4月から当科に入職した川島先生に「さかえ」の読みどころを紹介させていただきます。

文責：酒井 麻有

本年度から入局しました、川島 知也と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

今月号の「さかえ」の特集は、「心不全と糖尿病の新たな関係(P.5)」と「新型コロナウイルス感染症について(P.17)」、特別企画は「糖尿病患者さんのためのアルコール学入門(P.34)」です。

まず「心不全と糖尿病の新たな関係」ですが、糖尿病患者さんには心不全を併発する方が多いことが知られています。近年発売されたSGLT-2阻害薬という種類の糖尿病治療薬は、心不全の改善にも効果があることが分かってきました。SGLT-2阻害薬は、血液中の過剰な糖を尿中に排出し、血糖値を低下させる薬剤です。糖尿病患者さんに投与すると、心不全をはじめとした心臓や血管系のトラブルを抑制することが報告されました。有効性についてのメカニズムについてはまだ不明な点もありますが、今後の研究でSGLT-2阻害薬が有用な心不全の病態が明らかになっていくと思われれます。病状によってはSGLT-2阻害薬があまり好ましくない患者さんもいると思いますので注意は必要ですが、ご興味のある方は一度担当の先生にご相談されてみてはいかがでしょうか。

次に「新型コロナウイルス感染症について」です。世界的な感染拡大が起きてから1年以上がたちました。日々のニュースなどで、目にしない日は無いほどですが、今月の「さかえ」では、新型コロナウイルス感染症の、症状、検査、ワクチンなどについてまとめられています。高血圧、糖尿病、腎疾患などが重症化のリスク因子といわれており不安に感じておられる方も多いかと思えます。ワクチンの摂取前後の注意点なども記載されているので、お読みいただくと参考になるのではないのでしょうか。

最後に特別企画では「糖尿病患者さんのためのアルコール学入門」となっています。おつまみの選び方や、副作用の注意点など、糖尿病の治療を続けながら、お酒と長く付き合うコツが記載されているので、特にお酒が好きな方は、ぜひご一読ください。